

## 平成 30 年全国学力・学習状況調査の結果報告

中学 3 年生を対象に平成 30 年 4 月 17 日に行われた全国学力・学習状況調査の結果を報告させていただきます。

### ◎全国、神奈川県との比較 「平均正答率 (%)」

|       | 国語 A | 国語 B | 数学 A | 数学 B | 理科   |
|-------|------|------|------|------|------|
| 森中学校  | 77   | 62   | 63   | 45   | 64   |
| 全国との差 | +0.9 | +0.8 | -3.1 | -1.9 | -2.1 |
| 神奈川県  | 76   | 62   | 66   | 48   | 66   |
| 全国    | 76.1 | 61.2 | 66.1 | 46.9 | 66.1 |

#### 国語 A (知識)

##### 全国を上回った問題

- 書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討する

##### 全国を下回っている問題

- 文脈に即して漢字を正しく書く

#### 国語 B (活用)

##### 全国を上回った問題

- 文章の構成や展開について自分の考えをもつ

##### 全国を下回っている問題

- 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する

#### 数学 A (知識)

##### 全国を上回った問題

- 与えられた比例のグラフから、 $x$  の変域に対応する  $y$  の変域を求めることができる

##### 全国を下回っている問題

- 指数を含む正の数と負の数の計算ができる

#### 数学 B (活用)

##### 全国を上回った問題

- グラフから必要な情報を読み取り、事象を数学的に解釈することができる

##### 全国を下回っている問題

- 与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる

#### 理科 (知識)

##### 全国を上回った問題

アルミニウムの原子の記号の表し方についての知識を身に付けている

##### 全国を下回っている問題

オームの法則を使って、抵抗の値を求めることができる

#### 理科 (活用)

##### 全国を上回った問題

シミュレーションの結果の考察を検討・改善し、台風の進路を決める条件を指摘できる

##### 全国を下回っている問題

豆電球と豆電球型の LED の点灯の様子と電力との関係を指摘できる

## 【国語科としての課題と今後の指導】

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、概ね全国を上回る結果となった。授業の中で、古典の文章を現代語訳に直す力や、歴史的仮名づかいを現代仮名づかいに直す力は定着し、今回の結果となっている。文脈に即した語句を選択する力も着実に高まっていることが見受けられる。

一方、漢字の書き取りについては、全国の正答率と比較した際、正答率が $-3\%$ ～ $-8\%$ という結果となった。漢字については教科書やワークを中心に日々学習しているが、苦手意識をもっている生徒が多数いることも事実である。該当学年の新出漢字のみならず、1、2年生で学習済みの漢字についても、丁寧な復習が必要である。

## 【数学科としての課題と今後の指導】

全国を上回るグラフに関する問題は、2年次に直線のグラフで絵を描き、直線の式と $xy$ の変域をそれぞれ求めさせる課題をやっていた授業の成果が表れていると考えられる。

数式の計算をはじめとする分野では、授業での生徒の理解に反して正答率が伸びない問題がみられた。理解を深めて、知識や技能が定着するよう、問題演習の時間を十分に確保する必要がある。

また、正答率の低い問題に関しては無回答率も高くなる傾向があることから、様々な形式の問題に対して粘り強く取り組む姿勢をもてるようにすることも必要であると考えられる。

## 【理科としての課題と今後の指導】

解答形式が「記述式」の問題は全国平均正答率を上回る結果となったが、「選択式」や「短答式」の問題は全国平均を下回る結果だった。また「活用」に関する問題や「科学的な思考・表現」の観点の問題の正答率に比べ、「知識・理解」の観点の問題の正答率が伸び悩んでいた。1年次から学んだことを生かし、発展的な問いに文章で答える授業を行ってきた結果が現れたと考えられる。今後は基礎基本も定着できる授業展開を進める必要がある。

「科学的事象への興味関心」や「理科の勉強に対する必要性」を感じている生徒の割合は全国平均を大きく上回った。「解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか」という問いについては「努力した」が全国を下回る結果となった。今後も科学の楽しさを発信し、理科への苦手意識を減らす指導を継続していきたい。

## 【生活について】

### 全国と比べて優れていると思われる質問内容

- ①自分には、よいところがあると思いますか  
38.7% (全国) 33.7%
- ②学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）  
30.3% (全国) 10.5%
- ③数学の勉強は大切だと思いますか  
62.7% (全国) 45.9%
- ④理科の勉強は大切だと思いますか  
42.3% (全国) 33.2%
- ⑤将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか  
14.8% (全国) 8.5%

### 全国と比べて課題があると思われる質問内容

- ⑥人の役に立つ人間になりたいと思いますか  
57.7% (全国) 70.7%
- ⑦1, 2年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか  
16.2% (全国) 31.6%
- ⑧今住んでいる地域の行事に参加していますか  
14.1% (全国) 18.6%
- ⑨今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか  
55.6% (全国) 62.8%

## 【今後の課題について】

- ⑥誰かのために行動する社会性や、他者への関心が低いように見受けられる。他者との関わりが自分を成長させるきっかけであり、それを実感できる機会を提供していきたい。総合的な学習の時間や、道徳の授業、グループワークなどを通して、お互いを高め合えるような体験を、増やしていく必要がある。
- ⑦・⑧地域との交流行事としては、防災訓練・豚汁づくり、お祭りへの参加・御輿担ぎ、職場体験、職業インタビュー、ケアプラザや近隣高校との文化祭交流など、年間を通してとてもさかんに行われ、地域とのかわりが深い。しかし、今回の調査では全国と比べて数値が低めになってしまっている。しっかりと生徒に振り返りをさせ、地域に支えられていることを実感させていきたい。
- ⑨どのような現象が起こったかを単語で書く力はあるが、どのようにして起こったかを文章で説明する力が不足しているように見受けられる。物事の過程を自分の言葉で的確に説明する力は、理科の「科学的な思考」のみならず、国語の「文章を書く力」も必要になる。様々な力の応用が求められたときに答えを導けるよう、カリキュラムの工夫改善を通して、他教科との関連も考えて応用する力を伸ばしていきたい。